香港でのりんごプロモーション（1）12月～1月販促プロモーション（イオン香港）

＜実施概況＞

区　分	概　　要
場　所	香港市内　イオン香港
期　日	令和元年（2019年）12月13日～15日 〃　　12月20日～22日
内　容	イオン香港 康山店、荃灣店、屯門店、將軍澳店、黃埔店 （5店舗×6日） ・需要期に向けたりんご試食宣伝会開催 ・日本産果実統一資材活用PR

・日系スーパーであるイオン香港において、黄色りんごを主体とした試食宣伝会を実施。（現地マネキン及び日本産果物統一資材を活用）

・ミスりんご等身大パネルを売場に設置し、香港の消費者に日本産りんごを身近に感じてもらいながら試食宣伝会などの販促活動を展開。

・量販店店頭でりんご産地からのビデオメッセージを放映し、高品質なりんご作りに励む青森の様子を伝えながら消費拡大を図った。

日本産果物
統一資材を活用してPR

ミスりんご等身大パネル
の設置によるPR

ミスりんご産地からの
ビデオメッセージを売
場で放映し情報発信

香港でのりんごプロモーション

（2）12月～1月販促プロモーション（YATA一田百貨店ほか）

＜実施概況＞

区　分	概　　要
場　所	香港市内　YATA一田百貨店
期　日	令和元年（2019年）12月20日～23日、12月27日～30日　計8日間
内　容	香港市内　高級スーパーYATAほかで日本産果物の販売促進活動を実施 YATA荃灣店、大埔店、元朗店、屯門店、北角店、西環店ほか ６店舗×8日間（計48営業日）実施 ・現地マネキン、日本産果実統一資材を活用した試食宣伝会

・高級志向スーパーYATA百貨店での日本産りんごの試食会を開催した。売れ筋である黄色品種の王林だけでなく、赤系品種を取り混ぜ品種、サイズを豊富にカラーコントロールを意識した売場展開をし積極販売を行った。

香港でのりんごプロモーション （３）12月～1月販促プロモーション（JASONS）

赤系りんごを試食し、
ふじを手にとるお客様

＜実施概況＞

区　分	概　　要
場　所	香港市内　JASONS、WELLCOME　4店舗
期　日	令和元年（2019年）12月20日～ 令和２年（2020年）1月27日うち各19日実施
内　容	Market Place(K11… Tsim Sha Tsui) 〃　(Olympia City…Olympic) Jasons　(Hysan Place…Causeway Bay) Wellcome　(Great George St. …Causeway Bay) ・現地マネキンを活用した試食宣伝会 ・日本産果実統一資材活用PR

・高級スーパーJASONSと同系列でローカルスーパーに分類されるWELLCOMEにおいて、春節前の需要期に向けた試食会を開催した。

・JASONSでは、支持が高い黄色りんごを中心に試食販売を実施し販売も黄色りんごのウェイトが大きかった。あわせて赤系りんごも積極的に展開し、食味の良さ等の認知度向上を図った。

香港でのりんごプロモーション（４）12月～1月販促プロモーション（TASTE）

＜実施概況＞

区　分	概　　要
場　所	香港市内　TASTE店舗
期　日	令和元年（2019年）12月20日～ 令和２年（2020年）1月27日
内　容	Taste(Citygate Outlet店…Tong Chung) Taste(Festival walk店…Kowloon Tong) 2店舗において、週末日19日間にわたり春節前に現地マネキン、統一資材を活用して試食宣伝会を実施した。

・春節前の需要期に高級スーパーTASTEで、需要の高い黄色りんごのほか、赤系りんごサンふじを主体に売り込みを実施
・外食需要の落ち込みに反比例し、生鮮食品の需要の高まりを受け手軽で食べやすい果物の販売も好調であった

日本産果物統一資材を活用してPR　　日本産果実売場には多数の人だかり

一般社団法人 青森県りんご対策協議会 AOMORI APPLE COUNCIL, INCORPORATED ASSOCIATION

香港でのりんごプロモーション　（５）1月香港　販促プロモーション（DCH）

＜実施概況＞

区　分	概　　要
場　所	香港市内
期　日	令和２年（2020年）1月11日～12日
内　容	大昌DCH食品専門店　6店舗×2日 東港城店（East Point City）、健威坊店（Fitfort）、將軍澳都會駅店（Metro Town）、馬鞍山廣場店 （MOS Plaza）、杏花新城店（Paridise Mall）、大昌食品本社特設売場 ・春節前の需要期に向けた販促PRイベント ・現地マネキンを活用した試食宣伝会 ・日本産果実統一資材活用PR

・香港内の情勢が不安定な中、市内居住者が安全のため外出する機会が減ったことにより、外食中心の生活スタイルから自炊するため食材を求める需要にシフトした傾向にあった。
・生鮮食品全体で需要が高まり、果物も手軽に食べることができるため需要が伸びた。しかし、店舗自体が開店できないなど、需要はあるものの売上を確保できない状況も一部あった。

將軍澳都會駅店（Metro Town）

杏花新城店（Paridise Mall）

東港城店（East Point City）などでの試食会

香港でのりんごプロモーション　（6）香港　SNS活用日本産りんご情報発信プロモーション

＜実施概況＞

区　分	概　　要
対象範囲	香港、ほかSNSオンライン上（FACEBOOK）
期　日	令和元年（2019年）12月7日～キャンペーン開始 令和２年（2020年）1月15日まで　※結果発表1月31日
内　容	・日本産りんごFACEBOOKキャンペーン 青森県香港向け公式FACEBOOKページにおいて、キャンペーン記事に対し、日本産りんごをテーマにしたコメント投稿を広く募集する。 上位者に賞品を提供しながら、日本産りんごについて情報拡散を図り、香港内店頭でのりんご需要喚起に繋げる。 また、香港内で実施している試食宣伝会等についてもあわせてWEB上で告知し、日本産りんごの販売促進に働きかける。 【指定テーマ】お気に入りのりんご品種とその理由

フェイスブックのほか
パンフレット等、他媒体
でキャンペーンについて
情報発信

・近年は香港から青森県への来訪者も増加しており、SNS上から情報を得やすい環境である事もあり、日　本産りんごに対する基礎知識が高く、投稿内容も　凝ったものが多かった。
・リーチ数が15,592（関連記事合計）であったことから今後の課題としてSNS上だけではなく、店頭売場でのパンフレット等からの引き込み等、より規模を拡大して展開できるよう取り組む。

一般社団法人 青森県りんご対策協議会
AOMORI APPLE COUNCIL, INCORPORATED ASSOCIATION